ＰＤピンニングエポキシ樹脂注入工法施工手順

補修範囲の確認　　　　　◇浮きの状況を確認し、補修範囲を決定する。

　　　↓　　　　　　　　　・テストハンマー等により、剥離のおそれがある浮き部につ

　　　　　　　　　　　　　　いて確認し、範囲をチョーク等で明示する。

マ ー キ ン グ　　　　　◇ＰＤピンの本数と位置を決定し、マーキングする。

　　　↓　　　　　　　　　・浮き部分に対するＰＤピン本数は、50二丁直張りタイル以

　　　　　　　　　　　　　　上の場合50本/㎡、50角モザイクタイルの場合100本/㎡、

　　　　　　　　　　　　　　下地調整モルタル有のタイル張り仕上げ及びモルタル塗り仕上げの場合、一般部分は16本/㎡、指定部分（見上げ面、

　　　　　　　　　　　　　　ひさしのはな、まぐさ隅角部分等をいう。）は25本/㎡、狭

　　　　　　　　　　　　　　幅部は幅中央に200mmピッチとする。

　　　　　　　　　　　　　・浮き面積が1㎡以下の場合は、標準配置グリッド図を当て

　　　　　　　　　　　　　　はめた最大本数程度とする。

穿　　　　　孔　　　　　◇ＰＤピン固定部の穿孔を行う。

　　　↓　　　　　　　　　・φ3.6mmコンクリート用ビットを用い、壁面に対し直角に穿

　　　　　　　　　　　　　　孔する。

　　　　　　　　　　　　　・穿孔は、マーキングに従って行い、構造体コンクリート中

　　　　　　　　　　　　　　に20mm程度の深さに達するまで行う。

孔 内 の 清 掃　　　　　◇穿孔後は、圧さく空気等で切粉等を除去する。

　　　↓

計　量・混練り　　　　　◇注入用エポキシ樹脂を製造所の仕様により、均一になるまで混

　　　↓　　　　　　　　　練りする。

　　　　　　　　　　　　　・主剤と硬化剤を正確に計量する。

注　　　　　入　　　　　◇注入用エポキシ樹脂を挿入孔の最深部より徐々に充填する。

　　　↓　　　　　　　　　・注入用ポンプを用いる。

　　　　　　　　　　　　　・充填量は50二丁直張りタイル以上の場合挿入孔1箇所あたり5ml、50角モザイクタイルの場合挿入孔１箇所あたり3ml、下地調整モルタル有のタイル張り仕上げ及びモルタル塗り仕上げの場合挿入孔１箇所あたり25mlを標準とする。

ピ ン ニ ン グ　　　　　◇PDピンをインパクトドライバーで挿入する。

　　　↓　　　　　　　　　・PDピンは表面から0.5～1mm程度奥に位置するように挿入

　　　　　　　　　　　　　　し、ねじ込みすぎないように注意する。

仕　 上 　 げ　　　　　◇目地モルタル等で仕上げる。

　　　↓

養　　　　　生　　　　　◇注入用エポキシ樹脂が硬化するまで適切な養生を行う。

　　　↓　　　　　　　　　・衝撃を与えないようにし、降雨等からも適切な養生を行う。

　　　　　　　　　　　　　・夏期では15時間程度、冬期では24時間程度養生を行う。

清　　　　　掃　　　　　◇注入部以外に付着した材料を、適切な方法で除去し清掃する。

ＰＤピンニングエポキシ樹脂注入工法使用材料

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 材種 | 材質、その他 | 材料名 | 製造所・販売元名 | 備考 |
| 注入材 | ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ固定用ｴﾎﾟｷｼ樹脂  JIS A 6024硬質形 高粘度形 | ｱｻﾋﾎﾞﾝﾄﾞ576 | ｱｻﾋﾎﾞﾝﾄﾞ工業㈱ | 6kg/ｾｯﾄ |
| 仕上げ材 | 既調合目地モルタル |  |  |  |
| パテ状エポキシ樹脂 | ｱｻﾋﾎﾞﾝﾄﾞ505 | ｱｻﾋﾎﾞﾝﾄﾞ工業㈱ | 3kg/ｾｯﾄ |
| ｱｻﾋﾎﾞﾝﾄﾞBE2 | ｱｻﾋﾎﾞﾝﾄﾞ工業㈱ | 6kg/ｾｯﾄ |
| ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ | ステンレス鋼 | PDﾋﾟﾝφ4×32、45 | ｱｻﾋﾎﾞﾝﾄﾞ工業㈱ | 500本/箱 |